



性の健康支援ネットワーク 活動指針

【第2版】

「いのちの教育」「性の健康教育」
～「出前授業」の進め方～

公益社団法人 山形県看護協会

いのちの教育推進委員会

目次

はじめに	・・・・・・・・・・	2
依頼内容 一覧	・・・・・・・・・・	3
山形県看護協会「出前授業」講師派遣のフロー	・・・・・・・・・・	4
「出前授業」実施の流れ	・・・・・・・・・・	5
「出前授業」企画書	・・・・・・・・・・	6
模擬授業のスライド		
【小 学 校】・いのちのはじまりから誕生まで	・・・・・・・・・・	11
【中 学 校】・思春期のころとからだ	・・・・・・・・・・	12
・あなたはいつパパ・ママになりたい（妊娠出産と時期）	・・・・・・・・・・	13
・人間関係を育もう	・・・・・・・・・・	14
【高等学校】・性感染症について	・・・・・・・・・・	15
・高校生に向けた性教育の一例（男子高生編）	・・・・・・・・・・	16
各種様式		
・「山形県看護協会 性の健康支援ネットワーク」入会申込書【様式1】	・・・・・・・・・・	19
・山形県看護協会「出前授業」申込書【様式2】	・・・・・・・・・・	20
・講師用「みんなで話そう-看護の出前授業 実施報告」【様式4】	・・・・・・・・・・	21
・事前打ち合わせチェックリスト【講師用】	・・・・・・・・・・	22
・備品借用申込書	・・・・・・・・・・	24

はじめに

いのちの教育推進委員会は、次世代育成への支援として、『「性の健康教育」の普及・啓発と実施者の拡大を図るとともに、指導内容の質の向上を図る』ことを目的として、2006（平成18）年度より、「性の健康を支援する委員会」として活動を開始しました。委員会設置の背景として、平成10年山形県の20歳未満の人工妊娠中絶率が全国第3位となり、山形県の思春期保護対策を受け性教育の依頼が増加し、次世代育成への支援、若者たちの性の健康を支援するために設置されました。

2007（平成19）年より「性の健康教育」講師派遣事業を本格的に開始しました。近年「性の健康教育」の依頼内容が、「生命誕生」や「いのちの大切さ」といった「いのちの教育」の依頼も増えてきたことから、2018（平成30）年度より委員会の名称を「いのちの教育推進委員会」として活動しています。

委員会活動として、「出前授業」講師派遣事業における「いのちの教育」「性の健康教育」の実践体制の構築、「性の健康支援ネットワーク（以下、ネットワークとする。）」の運営の効率化、ネットワーク会員（以下、会員とする。）の新規登録者の募集と活動内容の周知、および会員のスキルアップを目的とした研修会の開催など、「性の健康教育」を中心に活動してきました。しかし、「出前授業」の依頼内容が多様化しており、求められる教育の幅が広がっています。

これらの状況を踏まえ、新規登録者が「出前授業」を実施する際の手引書として、また「いのちの健康教育」「性の健康教育」の実践内容の質の向上を目的として、『性の健康支援ネットワーク活動指針「いのちの健康教育」「性の健康教育」～「出前授業」の進め方～』を作成いたしました。

「いのちの教育」「性の健康教育」に関わる方にご活用いただき、それぞれの役割に応じて、具体的なプログラムを作り、実践する際の一助にさせていただきたいと思えます。

いのちの教育推進委員会
2020年5月

依頼内容 一覧

小 学 校	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・男女仲良く
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・生命誕生、あなたの誕生 ・命のはじまり（精子。卵子、受精卵） ・胎児の成長（胎児モデル） ・大切な命 ・出生時の新生児（人形） ・親から児童にあてた手紙を読んでもらう ・命が育っていく様子 ・自分と人の命を大切にすること ・助産師の仕事
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・命のはじまり ・生まれてくるということ ・生まれた時の様子 ・命のバトン
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・出産を通しての命の尊さ、大切さ、家族のつながり ・デートDV ・自殺と暴力防止
中 学 校	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ、尊さ ・命のバトン ・命のはじまり、つながり ・思春期の心と体の変化 ・命と命の出会えた奇跡 ・守られる命から守る命へ ・自分の存在を大切に考える ・LGBTQ ・正しい妊娠、分娩の知識を理解する ・二人の出会いから妊娠、出産まで ・妊娠の成立 ・出産、誕生 ・責任ある行動 ・人と比較しない ・体験コーナー（妊婦ジャケット・人形）
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・大切な命 ・命のはじまり、誕生 ・命のバトン ・思春期の心と体 ・男女の違い ・男女の関わり ・男女交際 ・中絶、性感染症 ・LGBTQ ・HPV ワクチン
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・生命誕生 ・命の大切さ ・思春期の変化、特徴、思考の違い ・人権としての性 ・LGBTQ ・対人関係の変化（友人選択理由とその変化） ・ライフプラン ・望ましい男女交際 ・妊娠、出産 ・思春期に培うべき力（性情報の正しい利用、男女交際とマナー、性行動の意思決定） ・男性の役割、女性の役割 ・望まない妊娠 ・性感染症の種類、防止策
高 等 学 校	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ ・思春期とは、特徴 ・男女の心と体の違い ・妊娠のしくみ ・性感染症 ・中絶 ・二次性徴・射精、マスターベーション ・胎児の成長 ・月経 ・子宮頸がん ・男女の性行動の違い ・生と性 ・性の発達、自立 ・内性器 ・基礎体温 ・人形を使っての育児体験 ・将来に向けて今すべきこと ・同性、異性の性 ・本来の自分を想像してみよう ・生きることを自分でデザインする ・将来お母さんになるあなたたちへ ・産む、産まないの2つの選択肢 ・望まない妊娠、中絶 ・ネット、メール、出会い系 ・デートDV
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ、尊さ ・思春期とは ・男女のあり方、交際 ・妊娠、出産、子育て ・避妊 ・出産、中絶、妊娠 ・性行動の意思決定能力を高める ・卵子の老化、健康な体作り ・若者の性行動の特徴 ・自分を大切にすること ・命の輝き、生きる力について
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・命について、命のはじまり ・男女の心と体について ・性の自立 ・妊娠から出産までの胎児の発育 ・人生設計 ・親としての責任 ・自分で作る未来 ・自分を認め大事にすること ・不妊 ・望まない妊娠 ・性感染症 ・避妊（ピル） ・中絶 ・デートDV ・セックスの意味 ・若者の性行動の特徴 ・友人選択理由、人権尊重の精神で生活することの必要性

「出前授業」講師派遣のフロー

	依頼施設(学校等)	看護協会事務局	講師・所属施設
企 画		事業の進め方の基本 ☆年間を通しての「出前授業」に関する一連の手続きについて一括起案する ☆個々の案件は略式伺いとし、課内回覧とする。	
依頼の発生	*「出前授業」の計画 【実施期間:6月1日～3月31日】		
	①実施希望日:6月1日～8月31日(申込期間:4月1日～4月30日) ②実施希望日:9月1日～12月31日(申込期間:6月15日～7月15日) ③実施希望日:1月1日～3月31日(申込期間:10月15日～11月15日)		
	*「出前授業」申込書(様式2)の送付 ※申込書(様式2)をホームページからダウンロードし、看護協会にメールで送信する ※講師との予定が合わない場合、日程を調整する	* 申し込み受理 * 講師選考 1)「看護の仕事」 依頼施設の地域・依頼内容等を考慮し講師依頼施設を選定する 看護管理者に講師選定の依頼をする 2)「いのちの教育・性の健康教育」 ①「性の健康教育支援ネットワーク」登録会員にメールマガジンを配信し、実施希望を募る ②希望者がいない場合、依頼施設の地域を考慮し、ネットワーク会員の所属施設の所属長・看護管理者に、講師の選定を依頼する ※講師の予定が合わない場合、依頼施設に日程調整を依頼する ※ネットワーク登録会員以外(看護協会会員)に依頼する場合は、講師候補者の所属長の許可を得て決定する。	1)「看護の仕事」 施設内(看護管理者)で講師選定を行う 2)「いのちの教育・性の健康教育」 ①希望者は、所属長(看護管理者等)の許可を得てから看護協会に連絡する ②施設内(看護管理者)で、「性の健康教育支援ネットワーク会員」を優先に講師選定を行う。 * 講師の受諾の可否を報告 * スケジュールの調整 施設内・講師の勤務等の調整
契約成立	①講師派遣承諾書(様式3)の受理 * 講師と打ち合わせ	* 関係書類の送付 ①依頼施設あて:講師派遣承諾書(様式3) ②講師あて:講師派遣依頼・講師依頼	②派遣依頼・講師依頼の受理 * 依頼施設と打ち合わせ
実 施	*「出前授業」の実施 * 必要経費等の支払い 実施当日、講義準備費用・日当・旅費等の必要経費として、講師派遣1回につき講師1人あたり一律(10,000円(税込))を支払う		*「出前授業」の実施
終 了	* 実施報告書の提出 ※実施報告書(様式5)は、看護協会ホームページからダウンロードし、メールで終了後1ヶ月以内に提出	* 実施報告書の受理 依頼施設からの実施報告書を講師に送付する * 依頼施設ごと書類の整理 * 日本看護協会への報告 「看護の出前授業」の「実施校リスト」を送付する	* 実施報告書の提出 ※実施報告書(様式4)は、看護協会ホームページからダウンロードし、メールで終了後1ヶ月以内に提出
年度末		* 実施実績のまとめ	
評 価		*「いのちの教育推進委員会」に実績を報告し、評価する	

「出前授業」実施の流れ

派遣依頼・講師依頼を受理

看護協会事務局

※打合せ方法（電話、メール、訪問する等）と講義内容等を確認する。

学校側との打ち合わせ

担当講師が学校担当教員に連絡し
打ち合わせの日程を調整する

- ・ テーマ
- ・ 使ってはいけない言葉の有無
- ・ 配慮すべき家庭環境の有無
- ・ 生徒の成熟度、モラル
- ・ 授業内容の進み具合
- ・ 学校（学級）の雰囲気を知る
- ・ 必要に応じてパワーポイントや企画書を共有する
- ・ 持参するものや学校側の機材（音響も含む）を事前に確認する

準備

- ※視聴覚教材について
- ・ パワーポイントをつくる場合は、
文字は少なく、イラストを多めのわかりやすいスライドにする
 - ・ USBのバックアップは必ず行う（ウイルス感染対策のため）
 - ・ 使用備品の借用

実施

- ・ 当日は少し早目に会場に行き、PC、パワーポイント、音響等の確認をする
- ・ 講義資料等は、依頼時間より少し短めに作成する

→ 予定終了時間， 厳守！！

※データは最新のものを使う

実施報告書（様式4）提出

※「出前授業」実施後、1カ月以内に提出する

「出前授業」企画書

必要に応じて作成します。

「企画書」とは、「出前授業」を行う際の進行表（プログラム）となります。初めて「出前授業」を実施するときなどに「企画書」を作成すると進めやすくなります。

依頼施設と事前打合せを行い、どのような「ねらい」や「意図」をもって実施するのかを明確にし、依頼された時間内で実施するのに役立ちます。

一 企 画 書 (例) 一

氏名

日時：20 年 月 日 () ① 10時45分～11時45分

② 13時20分～14時20分

場所：山形県立〇〇高等学校 音楽室

1. テーマ

思春期セミナー「もっと知ろう！成長する自分の体とこころ」

2. 対象

① 高等学校1年生〇〇科29人(女子15人,男子14人)

② 高等学校1年生〇〇科30名(女子5人,男子25人)

3. 学校からの依頼内容

「男女の心と身体について」、「いのちの大切さ」を2大テーマとして、(1)若者の性行動の特徴(2)性感染症の予防(3)性の自立(4)妊娠・出産(5)子育てについてなどを盛り込んだ内容

4. セミナーの目標

- 1) 思春期の男女の身体の発達と心の特徴を理解できる
- 2) 子育てに対するイメージをもつことができる
- 3) 将来のために自分自身が今とるべき行動を考えることができる

依頼施設の企画意図やねらいを踏まえ、どのような力を身に付けさせたいのか、目標を設定します。

5. セミナーの概要

1) 必要物品

学校側：プロジェクター、スクリーン、テーブル（パソコンや人形を置くため）、黒板

講師：パソコン、ポインター、新生児人形、紙おむつ、哺乳瓶、おしゃぶり、家族の気持ち（音源）、スピーカー

配布資料：なし

打合せや講義内容に合わせ使用備品を事前に借りておくことも必要です。

2) 展開

時間配分 (分(積算))	内容	講師の活動	生徒の活動	使用物品
5	導入 1.自己紹介と次第説明	性別はさまざまあるが、今日は男女の性に焦点を当てて授業をすることを伝える		・パソコン、プロジェクター、ポインター
15(20)	展開 1.講義 思春期の男女の身体の発達と特徴 ・男女のからだところの変化 全身変化、ホルモン、生殖器、 射精、精子、包茎、排卵、月経、乳房の変化 抱えやすい悩み	・男女ともに自分の身体と心の特徴を理解するだけでなく、そのしくみの面白さを感じてもらえるよう説明する ・身体の発育やからだの形状には個人差があることを伝え、生徒が不安を持たないように説明する	・説明を聞く ・はずかしがったり、ざわつくことが予想される	・パソコン、プロジェクター、ポインター
20(40)	展開 2.ロールプレイ演習 ・子育て体験 身体的には生殖能力が備わってきているが、一人のいのちを育てるのはどんな経験なのか実際体験してみよう 育てる人としてどんな力が必要かを考えよう	・2名程度の生徒を選出し、啼泣している新生児人形をあやして泣き止ませるよう説明する ・選出時に自薦がない場合は他薦を募る。生徒の力関係に留意しながら、状況に応じて講師がランダムに生徒を選出する ・生徒に泣き止ませる手段を提示したり、2人の生徒や他の生徒がアイディアを出し合い協力しながら泣き止めせられるよう誘導する ・概ねいろいろな対処がなされたところで人形を泣き止ませる ・実施した生徒または見学した生徒にどんな気持ちだったか感想を聞く ・生徒の頑張りを賞賛する	・説明を聞く ・対象となった学生は人形に対し、あやしたり、授乳したり、おむつ交換などを実施する ・感想を述べる ・発問について考え、自分の考えを述べる。 わからないという答えも予測される	・パソコン、プロジェクター、ポインター 人形、紙おむつ、おしゃぶり、哺乳びんなど 黒板

		<ul style="list-style-type: none"> ・いのちを育てる人はどういう人であればいいのか、どんな条件が必要か、どんな力が必要か生徒に投げかけ、意見を出してもらい、板書する ・いのちを育てるためにはいろいろな力が必要であり、高校生には足りない力がたくさんあることを共有する 		
5(45)	<p>展開3講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来のために今できること 自分自身を知ること、体と心の健康づくり、毎日の生活を楽しむ、他人の尊重・思いやり ・望ましい生活習慣について 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在が将来の自分につながっていること、育てる立場を見据えて今どんな行動をとるべきか考えてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞く、自分に何ができるか考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクター、ポインター
10(55)	<p>まとめ</p> <p>家族の気持ち（音源）を聞いてもらう</p> <p>質疑応答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も大切に育ったことを実感するとともに、これから自分が育つ側に立つことを意識し、本日の講義内容を振り返る時間となるようまとめる ・質問に回答する 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞く、質問する 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクター、ポインター、スピーカー

6. 指導上の留意点

- ・男女のからだに関する内容の説明にあたっては、羞恥心に配慮しながら進行する。
- ・1年生なので、成長や生活体験に個人差があることを踏まえて進行する。
- ・将来子どもを持つことを含めいろいろな生き方があることを前提にしたうえで進める。
- ・生徒の反応を見ながら発問を交え、生徒が自分のこととして考えながら聞くことができるように進行する。
- ・医学用語を使用せず、平易な言葉で説明する。
- ・性がネガティブなもの、暗いもの、いやらしいものという印象を持たないように展開する。
- ・時間を厳守する。

7. 評価

講座の目標の達成度は講義中の生徒の発言や態度、実施後に生徒が書く感想文から評価する。

版 数	発行日	改訂履歴
第1版	2020年5月	初版発行
第2版	2024年4月	P3：依頼内容一覧にLGBTQ、HPVワクチン記載追加 P5：学校との打ち合わせ部分内容追加

発行者：いのちの教育推進委員会

発行人：会長 若月 裕子

公益財団法人山形県看護協会

〒990-2473 山形市松栄1-5-45（アルカディアソフトパーク山形 内）

TEL： 023-685-8033 FAX： 023-646-8868